



成果指標				
成果指標	補助件数			
指標設定の考え方	本事業については、利用者の拡大を目的としていることから、補助件数を成果指標とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目 標	15	15	15	15
実 績	13	12	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	平成22年度から開始した本事業でこれまでにかなりの利用者があり、一定の目標を達成することができた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	本事業において、利用者への周知を広め一定の目標を達成することができ、子育て家庭への軽減を図ることができた。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	・平成25年度外部評価にて廃止の評価済み
-------------------	----------------------

経営者会議の最終判断

事業の方向性	事業の休止、廃止を検討する。
意見、課題	